

平成30年度 開新高等学校学校評価 教師による自己評価

A:できている B:おおむねできている C:ややできていない D:できていない

大項目	小項目	アンケート項目	集計(%)			
			A	B	C	D
学校経営	工業科、普通科、総合学科の特色を生かした魅力ある教育活動の実践	工業・普通・総合学科として、それぞれの科の特徴を理解し、科として適切な教育目標を設定してそれに向けた教育実践ができた	19	72	9	0
		生徒の基礎学力定着と、生徒が希望する進路を実現するための学力を身に付けさせることができた	9	66	22	2
	新学習指導要領移行に向けての研究・周知徹底と、大学入試センター試験の改定に伴うに向けての受験対策の見直し	新学習指導要領の内容について理解し、2022年の実施に向けた取組みを行う事ができた	3	41	51	4
		2011年度大学入試制度改革の内容を理解し、これに対応する研究や対策に取り組むことができた	3	29	62	6
	ICTの活用による分かりやすく楽しい授業と、校務の効率化、学校からの情報発信の研究	ICT機器を使った授業を行う事ができた	9	28	47	16
		ICTを利用して事務や校務の効率化に取り組む事ができた	12	51	31	7
家庭や地域に対して、学校としての情報発信を行う事ができた		12	52	33	4	
学力向上	指導力の向上	わかりやすい授業を行うために日頃から教材研究や研修会に参加する等、教師としての資質向上に向けて努力することができた	13	61	26	0
		生徒の個性や特性に応じた授業を行う事ができた	16	70	14	0
	基礎学力の定着	基礎学力の定着に向けて粘り強い指導を実践する事ができた	11	63	25	1
		生徒が家庭学習の習慣を身に付ける指導を行う事ができた	3	40	54	3
		必要に応じて個別の学習指導や添削を行う事ができた	13	72	13	2
生徒指導	基本的生活習慣の確立	生徒に対して率先して挨拶を行う事ができた	55	44	1	0
		生徒の個性や特性を尊重しながら、社会や学校のルールを遵守できる生徒の育成・指導を行う事ができた	26	68	5	0
	命を尊び、心身共に健康な人材の育成	交通ルールの遵守、交通マラルについて生徒に理解させる指導ができた	22	68	9	0
		生徒の人権に配慮しながら、生徒が内面に抱えている悩みに気づき、相談や適切な助言ができた	16	72	13	0
		学校をあげて、いじめや自殺を未然に防止する為の体制づくりや教育活動が行われている	19	67	13	1
	自主的に行動できる意欲ある生徒の育成	地域や他者への奉仕の心を育む教育実践ができた	13	64	22	1
校内の美化に積極的に取り組み、施設・設備を大切に扱う心を育てる指導ができた		17	69	12	2	
進路指導	進路に関する意識の向上	LHRや総合的な学習の時間を活用して生徒の進路意識の向上を図る指導ができた	13	69	15	3
	進路情報の提供	進路指導部、学年、教員間で進路に関する情報共有が十分行われていた	13	72	14	2
	進路相談の充実と環境整備	生徒・保護者からの進路相談に対して十分に対応することができた	14	72	13	2
特別活動	学校行事の充実	生徒の実態に即した有意義な学校行事を、全職員の協力のもとに計画的に行う事ができた	17	71	13	0
	クラブ活動の充実	クラブ活動の振興に向けて努力することが出来た	25	62	12	1
		技術面のみならず、生活面や学業面においても部活動生への指導を十分に行う事ができた	20	61	18	1
	生徒会活動の充実	生徒会として各種ボランティア活動に積極的に参加する事ができた	12	53	31	4
生徒会が活発に活動した		21	62	16	1	
健康・安全管理	健康教育の推進	生徒自らが、自身の健康増進に留意し、健康的な生活を営む指導ができた	13	67	19	1
	教育環境の整備	学校の教育環境は、生徒の事故や怪我の防止、疾病の予防などの面で十分である	14	66	17	3
	教育相談	面談などを通じて、生徒の実態把握に取り組むことができた	15	68	17	0
保健室やスクールカウンセラーと連携し、生徒の悩みや相談に適切に対応する事ができた		22	64	14	1	